

## 岩沼市復興推進計画

平成28年10月17日

宮城県岩沼市

### 1. 計画の区域

岩沼市全域

### 2. 計画の目標

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、我が国観測史上最大規模の地震であり、岩沼市においても、死者181名、行方不明者1名、家屋被害5,428戸という過去に例を見ない極めて甚大な被害が生じた。また、今回の地震では、大きな揺れとその後の大津波により、沿岸部の集落や工業団地が壊滅的な被害を受けるとともに、東部地区の多くの住宅や農地などが浸水した。これにより農業や工業など、本市を代表する産業に大きな被害が生じ、地域経済の活力低下が懸念されているほか、仙台空港などの公共施設も被災し、航空網や物流機能の低下も問題となっている。

こうした震災の経験と教訓を踏まえ、沿岸部も含めた広域圏における人員輸送や、災害時における物資の安定的な供給体制の確保に資する企業の体制強化に向けた取組みを支援することを目的とし、中核的な産業を担う企業の設備投資を促進することにより、本市の地域経済の活性化及び雇用機会の創出を図る。

### 3. 計画の目標のために推進しようとする取組の内容

雇用機会の創出を図るため、本市の中核的な産業である航空運輸業について、立地企業の設備投資を支援する。

### 4. 計画の区域において、実施し、又はその実施を促進しようとする復興推進事業の内容及び実施主体に関する事項並びに復興推進事業ごとの特例の措置の内容

「復興特区支援貸付事業」

#### ①事業の内容

本市に立地する東邦航空株式会社（以下「対象事業者」という。）が、本市下野郷地区内において格納庫を新設するために必要な資金を貸し付ける事業

#### ②貸付の対象となる事業が計画の目標を達成する上で中核となるものであることの説明

本市における航空運輸業は、本市の運輸業・郵便業における従業員数で上位5番目に位置する本市の中核的な産業である。また、対象事業者の従業員数は本市の航空運輸業において約33%を占めており、本市の運輸業・郵便業に果たす役割として中核的な位置付けにあるものである。

対象事業者は、昭和38年に仙台空港内に東北事業所及び格納庫を設置して以来、人員及び建築資材などの物資輸送を行い、地域の企業活動の効率化に貢献してきた。また救命医療搬送も行っており、「空飛ぶ救急病院」として治療開始時間の短縮による患者の救命率向上や後遺症の軽減など、地域住民の救護に大きな役割を果たしてきた。

このような中、震災により当該格納庫が被災したため、今般の格納庫新設により、地域企業の物流基盤を支え、地域住民の救命救護に寄与するとともに、本市から6名の新規雇用者を見込んでいる。

したがって、本事業の実施による経済効果及び雇用効果は大きく、計画の目標に掲げた「地域経済の活性化及び雇用機会の創出を図る」ために必要かつ有効な事業であるとともに、本計画の目標達成に大きく寄与するものである。

③施行規則第2条に規定する該当事業

施行規則第2条第6号

④利子補給金の支給を受ける予定の金融機関名

株式会社三菱東京UFJ銀行

株式会社北陸銀行

株式会社商工組合中央金庫

⑤特別の措置

本事業を実施する者に対して必要な資金（3億円以上）を貸し付ける指定金融機関への復興特区支援利子補給金の支給（法第44条の規定に基づく措置）

5. 当該計画の実施が当該計画の区域における復興の円滑かつ迅速な推進と当該計画の区域の活力の再生に寄与するものである旨の説明

本事業は、本市における地域企業の物流基盤を支えるとともに、沿岸部も含めた広域圏における地域住民の救命救護体制の向上にも繋がるものである。

このため、当該計画の実施により、対象事業者の物流機能や救命救護体制が向上し、関連産業の活性化及び雇用の創出に結びつくものであり、本市の復興の円滑かつ迅速な推進と地域経済の活力再生に大きく寄与するものである。

6. その他

本計画の作成に際し、法第4条第3項の規定に基づき、宮城県の意見を聴取した。

また、岩沼市、岩沼市商工会、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社北陸銀行、株式会社商工組合中央金庫、対象事業者を構成員に含む岩沼市復興推進協議会（地域協議会）において、法第4条第6項に基づく協議を行った。